

## —特集—

# みんなで出来ること 地球温暖化対策

## 「これないと」の大切な事

人間の体は、四季や昼夜の温度差などは敏感に感じじる事が出来ますが、地球温暖化のような大きな規模で、ましてや平均気温の変化などは感じじる事が出来ません。そこで、地球温暖化について認識を深め、「今、何を実行していけば良いのか?」を考え事が大切です。生活の中で出来る限り資源・エネルギーの無駄使いを排除し、再利用やリサイクルを推進して、循環系社会をみんなの手で構築して行きましょう。

地球に生活する一人一人が、温暖化を含めた環境問題の意識改革をして、下表の取り組み例を参考に、自分(家族)の出来る小さな事から、地球のためにつなげることを行してみましょう。

## 地球温暖化とは

地球は、窒素・酸素・二酸化炭素等の大気に包まれています。

大気の中には、二酸化炭素・メタン・フロン等の温室効果ガスがあり、太陽から届いた熱を逃がさず、地球上の生物が住みやすい気温(平均15度前後)に保っています。もし温室効果ガスが無いと、地球の平均気温はマイナス18度となり、生物は住むことが出来なくなります。

二酸化炭素は、大気中の0.03%で、現在では200年前と比べて30%増加しています。本来住みやすい気温に保つ温室効果ガスが増加すると、バランスが崩れて平均気温を高くします。

これが「地球温暖化」です。

温室効果ガスの中でもメタン・フロンのように人工の化学物質があり、フロンなどは二酸化炭素に比べ微量でも温暖化への影響が高くなります。

## 過去100年間と100年後

平均気温が世界で0.6度、日本で約1度上昇しています。上昇が続くと美味しい米が出来なくなるなり、病害虫の増加で北海道でもゴキブリが見られるようになります。さらにマラリアを媒介する蚊が分布拡大し、マラリアや登んぐ熱などの感染症が日本国内でも増加する等の可能性がでてきます。

また、海面が最大で20cm上昇しています。21世紀中には最大で88cm上昇すると予測されています。日本で65cm上昇すると全国の砂浜の約80%以上が侵食されることになります。世界的に見ても平均海拔が1.5mしかない国ツバルでは、2002年から「環境難民」としてニュージーランドへの移民が始まっています。

その他、日本全体で降水量・降雪量の減少した。カエデ等の紅葉日が約14日遅くなつた等温暖化の影響がでています。

## 家庭で取組むCO<sub>2</sub>排出量の削減

取組み例	CO <sub>2</sub> 削減効果 (一世帯年間)	節約効果 (一世帯年間)	備考
冷房を1°C高く、暖房を1°C低く設定する	約31kg	約2,000円	カーテンの利用、着る物等工夫する。
1日5分間のアイドリングストップ	約39kg	約2,000円	駐停車の際はエンジンを止める。
待機電力を90%削減する	約87kg	約6,000円	主電源を切る。長期間使わないときはコンセントを抜く。
シャワーを1日1分家族全員が減らす	約65kg	約4,000円	洗うときには止め、流すときに出す。
風呂の残り湯を洗濯に使いまわす	約17kg	約5,000円	—
炊飯ジャーの保温を止める	約31kg	約2,000円	保温でなく、電子レンジ等を利用して暖めなおす。
家族がなるべく同じ部屋で団らんし、照明等の利用を2割減らす	約240kg	約11,000円	空調・照明を余計に使わない。
買い物袋を持つ。省包装の品物を選ぶ	約58kg	—	なるべくレジ袋を減らす。
1日1時間テレビ利用を減らす	約13kg	約1,000円	番組を選択する。つけっぱなしはやめる。
週1日往復8kmの車の運転を控える	約93kg	約4,000円	公共交通機関や自転車などを利用してみる。